

No. 16-9

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 16 - 9

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		6		作成日		27年 4月 30日		
事務事業名		少人数教育推進事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち						課名	学校教育課		係名	
		3-1 生涯学びのあるまちをつくる							シート作成者			
	施策	3-1-1 幼児教育・学校教育の充実						予算費目	会計		一般	
									款		10	
主要施策	③ 学校教育環境の条件整備						項		2			
							目		2			
個別計画名												
住民との関わり												
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	小中学校の児童・生徒				確かな学力を身につける。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）											
小中学校に非常勤講師を配置し、基本的には30名以上の学級において、国語、算数、数学、英語等の教科で少人数指導（授業）を実施する。状況に応じて、TT（チームティーチング）または少人数指導の形態にする。中学校において定数上、配置できない教科の非常勤講師を任用し教科指導を行う。												
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等												
		平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		10,679			12,825			19,668				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		10,547			12,693			19,536			
直接事業費（千円）A		10,547			12,693			19,536				
人件費（千円）B		132			132			132				
内訳	一般職員（人・千円）		0.02 人 132		0.02 人 132		0.02 人 132					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位	26年度		27年度	28年度			
						目標	実績	（目標）	（目標）			
	①											
	②											
③												
説明	個々の学校や学級が様々であることや、その成果が直ちに現れるものではないため成果指標の設定は困難である。ただ、学力調査の結果により一定の傾向等は把握ができるものと考えています。											

事業名	少人数教育推進事業	シート作成課	学校教育課
-----	-----------	--------	-------

一次評価者	学校教育課長	二次評価者	教育委員会事務局長
-------	--------	-------	-----------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 <input type="checkbox"/> 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 <input type="checkbox"/> 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 <input type="checkbox"/> 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 <input type="checkbox"/> 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 国や県のサービスと重複している。 <input type="checkbox"/> 7. 民間のサービスと競合している。 <input type="checkbox"/> 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	子どもたちがつまづきやすい内容や基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るには、少人数指導やチームティーチング等、きめ細かい個に応じた指導が必要不可欠です。	
有効性	<input type="checkbox"/> 1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 <input type="checkbox"/> 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 <input type="checkbox"/> 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 <input type="checkbox"/> 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	児童生徒一人ひとりに教師の目が届きやすくなり、子どもたちのつまづきや個々の課題把握、指導につながります。	
達成度	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 <input type="checkbox"/> 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標を達成していると思う。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	個々への指導が充実しますので、児童生徒の学習意欲も高まり、学力向上につながります。	
効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 <input type="checkbox"/> 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 <input type="checkbox"/> 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 <input type="checkbox"/> 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 <input type="checkbox"/> 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	費用対効果という点では効果を図ることが困難ですが、多人数クラスを一人で指導することに比べて、明らかにきめ細かく児童・生徒を把握し、指導支援することができます。	

本事務事業の実施適切性の説明

国や県から加配教員が配置されますが、十分ではなく、全ての学校の状況に対応できていないのが現状です。そのため県内各市町では市町費負担で講師を配置しています。本町においても国や県の加配を補う形で非常勤講師を配置いただいています。少人数指導等を可能にする講師の配置は、児童生徒の確かな学力を保障する上で極めて重要な施策です。また中学校の特に家庭や音楽等の芸能教科において、定数との関係から非常勤講師を任用する必要があります。

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	B
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
今後の改革・改善目標	過密単学級という状況や、学校の児童生徒数や学級の状況に応じて講師を配置することが必要です。今後、国の学級編制基準の見直しや教員の増員が行われる可能性はありますが、早急な改善は期待できず、引き続き町として先手を打っていくことが重要と考えます。					

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	B
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
コメント	たいへん重要な教育施策であると考えます。					

二次評価に対する課の考え方

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する
------------	------	----	------	---	------------